

岩手県感染症週報

平成27年第52週(12月21日～12月27日)

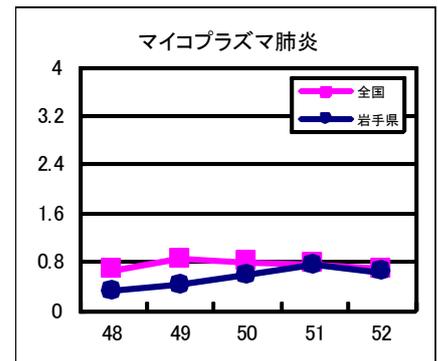
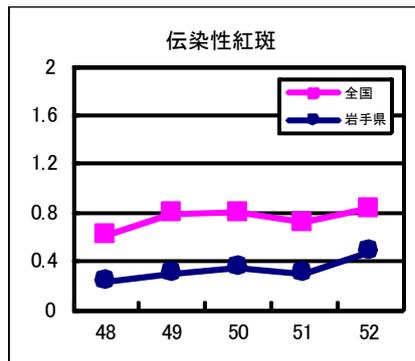
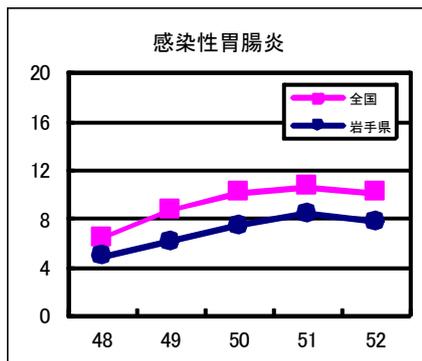
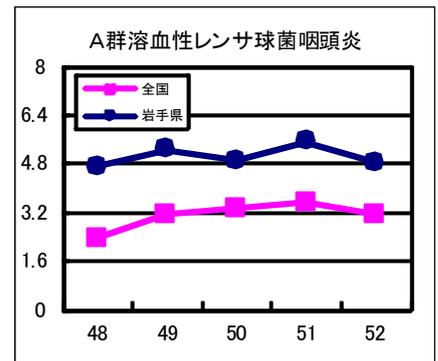
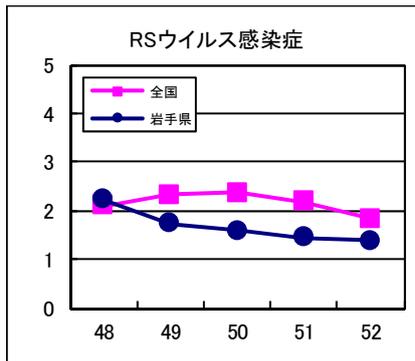
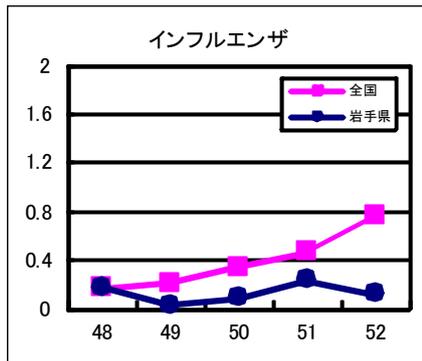
岩手県感染症情報センター

第52週の概要

- 1 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 2 類感染症 ・結核の報告が6例ありました。そのうち、潜在性結核感染症例は1例です。
- 3 類感染症 ・腸管出血性大腸菌感染症の患者の報告が、一関地区から2例ありました。
- 4 類感染症 ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (全数把握対象疾患)
 - ・患者発生 の報告はありませんでした。
- 5 類感染症 (定点把握対象疾患)
 - ・感染性胃腸炎は、地区別では奥州及び釜石地区で、定点あたり患者数10人を超えています。集団感染事例は11月からこれまでに、ノロウイルスによる事例が保育園10例、小学校1例、サポウイルスによる事例が保育園3例と、保育園での事例が多くなっています。また、食中毒事例も1例発生しています。予防には、石けんと流水を用いた手洗い、塩素系薬剤によるふん便や吐物の適切な処理、食品の十分な加熱などが重要です。
 - ・溶連菌咽頭炎は、例年に比較して多い状況が続いており、注意が必要です。中部及び二戸地区で警報値(定点あたり患者数8人)を超えた状況が続いています。症状は、突然の発熱、全身倦怠感、咽頭痛です。予防には、手洗いやうがいの励行が重要です。
 - ・インフルエンザは、例年1月から報告数が増加します。手洗いによる予防と咳エチケットによる周りへの感染防止に努めましょう。
 - ・年末年始に海外へ渡航し、帰国後に体調が悪くなった場合には、受診の際に渡航歴を話すことが重要です。

最近の注目疾患 (定点あたり患者数の過去5週の動き)

(疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意)



定点把握対象疾患 (過去5週の動き)

※2013年第42週より感染性胃腸炎 (ロタウイルス) が定点把握対象疾病となりました。

(定点あたり患者数)

疾病名	地域	週					流行傾向	
		48	49	50	51	52		
インフルエンザ	岩手県	0.18	0.03	0.09	0.23	0.12	→	☆
	全国	0.17	0.21	0.34	0.46	0.76		
RSウイルス感染症	岩手県	2.23	1.73	1.58	1.45	1.38	→	☆☆
	全国	2.11	2.32	2.36	2.19	1.83		
咽頭結膜熱	岩手県	0.15	0.35	0.25	0.23	0.3	→	☆
	全国	0.46	0.58	0.64	0.69	0.65		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	岩手県	4.7	5.25	4.9	5.53	4.83	↘	☆☆
	全国	2.35	3.12	3.34	3.54	3.12		
感染性胃腸炎	岩手県	4.9	6.1	7.45	8.43	7.8	→	☆
	全国	6.42	8.66	10.14	10.67	10.11		
水痘	岩手県	0.48	0.98	0.53	0.78	0.68	→	☆
	全国	0.65	0.74	0.7	0.87	0.78		
手足口病	岩手県	0.65	0.78	0.7	0.2	0.2	→	☆
	全国	0.27	0.23	0.18	0.13	0.11		
伝染性紅斑	岩手県	0.23	0.3	0.35	0.3	0.48	→	☆☆
	全国	0.61	0.79	0.8	0.72	0.83		
突発性発疹	岩手県	0.38	0.53	0.53	0.43	0.4	→	☆
	全国	0.45	0.48	0.46	0.43	0.39		
百日咳	岩手県	0	0.03	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.01	0.01	0.02	0.01		
ヘルパンギーナ	岩手県	0.08	0.05	0.03	0	0.03	→	
	全国	0.05	0.05	0.04	0.04	0.03		
流行性耳下腺炎	岩手県	0.33	0.6	0.6	0.5	0.6	→	☆
	全国	0.77	0.81	0.85	0.94	0.88		
急性出血性結膜炎	岩手県	0	0.07	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01		
流行性角結膜炎	岩手県	0.71	0.64	0.79	0.29	0.36	→	☆
	全国	0.86	0.85	0.81	0.85	0.87		
細菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.01	0.02	0.02	0.02	0.02		
無菌性髄膜炎	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.04	0.04	0.05	0.04	0.03		
マイコプラズマ肺炎	岩手県	0.32	0.42	0.58	0.74	0.63	→	☆
	全国	0.66	0.85	0.8	0.77	0.68		
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	岩手県	0	0	0	0	0	→	
	全国	0.02	0.02	0.03	0.02	0.03		
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	岩手県	0	0.05	0.05	0.05	0.05	→	
	全国	0.04	0.07	0.08	0.09	0.10		
インフルエンザ (入院患者) ※報告数であることに注意	岩手県	0	0	0	5	1		
	全国	17	14	15	25	41		

【流行傾向の見方】

- 無印 : ほとんど患者が発生していません
- ☆ : 患者が発生しています
- ☆☆ : 警報値を超えた地区が1～2地区あります
- ☆☆☆ : 多くの地区で警報値を超えています

全数把握対象疾患 (過去5週の動き)

※中東呼吸器症候群 (MERS) 及び鳥インフルエンザ (H7N9) が2015年1月21日より二類感染症に追加されました。

(患者発生数)

	疾病名	(週) 岩手県					累計	全国	
		48	49	50	51	52		52	累計
一類 感染症	エボラ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	クリミア・コンゴ出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	痘そう	0	0	0	0	0	0	0	0
	南米出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	ペスト	0	0	0	0	0	0	0	0
	マールブルグ病	0	0	0	0	0	0	0	0
	ラッサ熱	0	0	0	0	0	0	0	0
二類	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	結核 () 内は潜在性結核感染症患者再掲	5 (0)	2 (1)	13 (7)	7 (4)	6 (1)	259 (115)	372	23695
	ジフテリア	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症呼吸器症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	中東呼吸器症候群 (MERS)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1)	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H7N9)	0	0	0	0	0	0	0	0
三類	コレラ	0	0	0	0	0	0	1	7
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	2	156
	腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	1	2	88	12	3553
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	1	36
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	31
四類 感染症	E型肝炎	0	0	1	0	0	8	10	210
	ウエストナイル熱 (ウエストナイル脳炎を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0
	A型肝炎	0	0	0	0	0	1	0	240
	エキノコックス症	0	0	0	0	0	0	0	23
	黄熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	オウム病	0	0	0	0	0	0	0	5
	オムスク出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	回帰熱	0	0	0	0	0	0	0	4
	キャサヌル森林病	0	0	0	0	0	0	0	0
	Q熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	狂犬病	0	0	0	0	0	0	0	0
	コクシジオイデス症	0	0	0	0	0	0	0	3
	サル痘	0	0	0	0	0	0	0	0
	重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)	0	0	0	0	0	0	0	60
	腎症候性出血熱	0	0	0	0	0	0	0	0
	西部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ダニ媒介脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	炭疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	チクングニア熱	0	0	0	0	0	0	0	17
	つつが虫病	0	0	0	0	0	6	25	409
	デング熱	0	0	0	0	0	0	3	289
	東部ウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ (H5N1、H7N9を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0
	ニパウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	212
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	2
	ハンタウイルス肺症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	Bウイルス病	0	0	0	0	0	0	0	0
	鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	0
	ブルセラ症	0	0	0	0	0	0	0	5
	ベネゼエラウマ脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0
	ヘンドラウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	発疹チフス	0	0	0	0	0	0	0	0
ポツリヌス症	0	0	0	0	0	0	0	1	
マラリア	0	0	0	0	0	0	1	41	
野兎病	0	0	0	0	0	0	0	2	
ライム病	0	0	0	0	0	0	0	10	
リッサウイルス感染症	0	0	0	0	0	0	0	0	
リフトバレー熱	0	0	0	0	0	0	0	0	
類鼻疽	0	0	0	0	0	0	0	1	
レジオネラ症	3	1	0	0	0	26	17	1576	
レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	1	32	
ロッキー山紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	0	

全数把握対象疾患 (続き) (過去5週の動き)

(患者発生数)

※カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症、水痘 (入院例)、播種性クリプトコックス症、薬剤耐性アシネトバクター感染症が2014年第38週より報告されることになりました。

分類	疾病名	岩手県					全国		
		48	49	50	51	52	累計	52	累計
五類 感 染 症	アメーバ赤痢	0	0	1	0	0	9	19	1084
	ウイルス性肝炎 (A型肝炎及びE型肝炎を除く)	0	0	0	0	0	2	5	249
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	0	0	3	17	1640
	急性脳炎 (ウエストナイル脳炎及び日本脳炎を除く)	0	0	0	0	0	4	5	490
	クリプトスポリジウム症	0	0	0	0	0	0	0	15
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	0	0	1	3	185
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	0	0	2	8	425
	後天性免疫不全症候群	0	1	0	0	0	4	21	1408
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	77
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	0	0	0	0	0	3	7	247
	侵襲性髄膜炎菌感染症	0	0	0	0	0	0	2	32
	侵襲性肺炎球菌感染症	1	0	0	0	0	16	60	2327
	水痘 (入院例)	0	0	0	0	0	4	4	304
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	0	0	0	0
	梅毒	0	0	1	0	0	2	51	2638
	播種性クリプトコックス症	0	0	0	0	0	0	2	116
	破傷風	0	0	0	0	0	1	1	117
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	0
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	0	0	0	0	64
	風しん	0	0	0	0	0	1	0	162
麻しん	0	0	0	0	0	0	0	35	
薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	0	0	0	0	0	37	

今注目の感染症

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、A群溶血性レンサ球菌による急性咽頭炎です。潜伏期間は2～5日で、突然の発熱、咽頭炎、全身倦怠感によって発症し、体幹に発疹を伴うことがあります。感染後、急性腎炎を併発することがあるので、7～10日間の抗菌剤内服が重要です。予後良好な疾患ですが、菌が産生する毒素に免疫がない場合には猩紅熱に発展する場合があります。

予防には、患者との濃厚接触を避けること、うがいや手洗いなどの励行、マスクを用いた咳エチケットが重要です。

岩手県での発生状況ですが、2014年の第41週から、他の年に比較して多い状況が続いています (図1)。2015年の第52週の県全体の定点あたり患者数も4.83人と多くなっています。また、中部および二戸地区では警報値 (同8人) を超えており (図2)、今後とも注意が必要です。

参考 国立感染症研究所

インフルエンザとは <http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/219-about-flu.html>

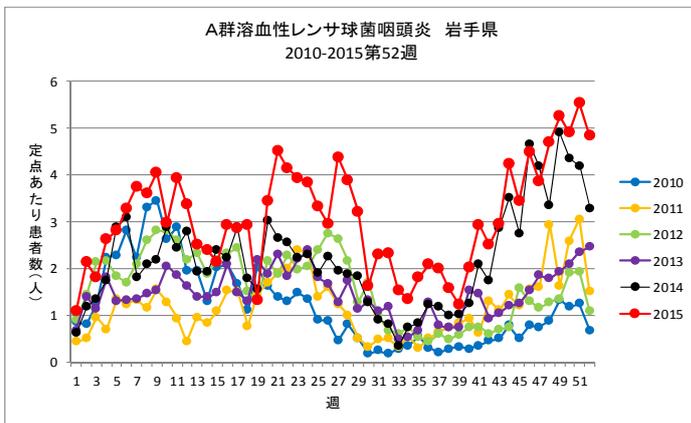
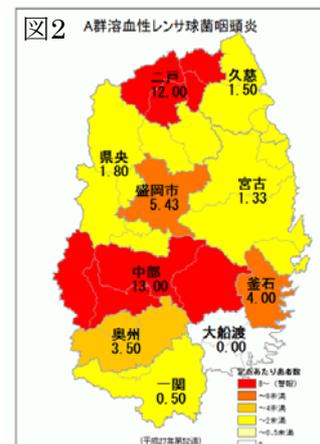


図1



今注目の感染症

インフルエンザ

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを原因とする気道感染症です。症状は、38℃以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛等全身の症状が突然現れます。

岩手県の発生状況ですが、例年11月下旬から12月上旬頃から発生が始まり、翌年の1～3月頃に患者数が増加します。

今シーズンの第52週は、報告数は少ないのですが、5地区から報告がありました。今のところ流行入りの目安である定点あたり患者数1.0人は超えていませんが、2013/2014シーズンは第1週に、2006/2007シーズンは第5週と年が明けてから流行入りするシーズンもあるので、今後の発生の動向に注意が必要です。

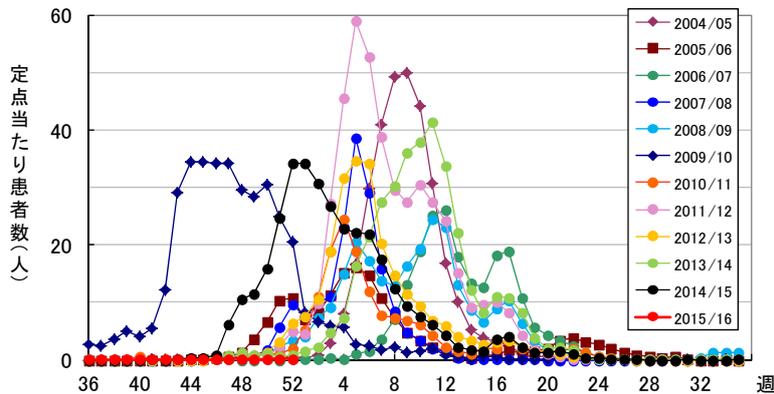
手洗いによる予防と咳エチケットによる周りへの感染防止が重要です。

今年度の季節性インフルエンザワクチンは、インフルエンザA(H1N1)亜型(インフルエンザ(H1N1)2009)と同じ亜型)、A/H3N2亜型(いわゆるA香港型)、B型(山形系統)、B型(ビクトリア系統)の4種類が含まれたワクチン(いわゆる4価ワクチン)です。昨年度までの3価ワクチンに比べ、B型を2種類にすることで、より高い予防効果が期待できるものです。ワクチンの予防効果が現れるのは、接種後2週間から5ヶ月程度と考えられています。早めの接種が望まれます。

参考 国立感染症研究所

インフルエンザとは <http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/219-about-flu.html>

インフルエンザ、岩手県



各シーズンの流行入り・注意報・警報を超過した週

シーズン	流行入り	注意報発令	警報値発令	ピーク	定点あたり患者数
	定点あたり患者数 1.0人	定点あたり患者数 10.0人	定点あたり患者数 30.0人		
1999/2000	52	3	5	5	51.82
2000/2001	8	10		11	20
2001/2002	5	7	8	9	31.8
2002/2003	1	4	6	10	31.55
2003/2004	52	4	5	6	37.9
2004/2005	4	6	8	10	50.19
2005/2006	48	51		5	16.11
2006/2007	5	9		12	26.16
2007/2008	50	3	5	5	38.52
2008/2009	51	4		11	24.52
2009/2010					
2010/2011	50	2		4	24.45
2011/2012	48	3	5	5	58.98
2012/2013	50	2	4	5	34.58
2013/2014	1	5	8	11	41.28
2014/2015	47	48	52	1	34.3

今注目の感染症 (つづき)

感染性胃腸炎

感染性胃腸炎は、細菌やウイルスなどの微生物を原因とする胃腸炎の総称です。毎年秋から冬にかけて流行し、その原因はノロウイルスやロタウイルス等のウイルスが大部分を占めています。近年では、流行の前半はノロウイルスが、後半はロタウイルスが患者から多く検出されています。

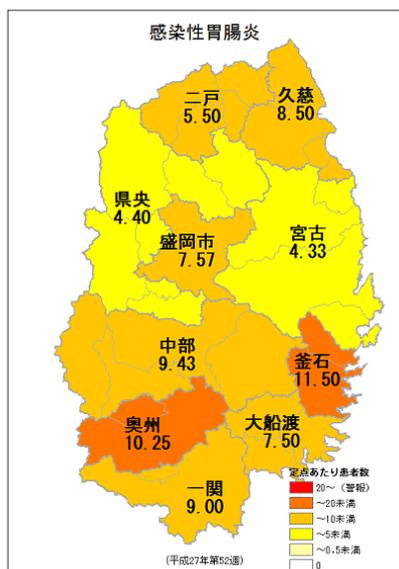
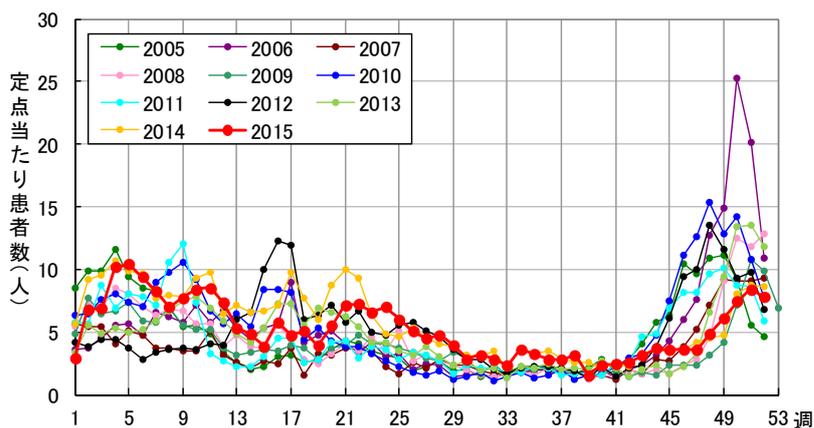
感染性胃腸炎の報告数は、例年、11月頃から増加し、12月にピークを迎えますが、2015年は報告数の少ない状況で推移しています。しかし、県内では保育園においてノロウイルスなどによる集団感染事例が報告されています。

感染性胃腸炎の原因となるウイルスの感染経路は、主に経口感染です。感染力が非常に強いので、保育園など集団で生活する場では、注意が必要です。また、ノロウイルスではGⅡ17変異株(いわゆる「新型ノロウイルス」)が他県で検出され、全国的な流行が懸念されるため、県内での発生の動向に注意が必要です。その予防には、これまでどおり、調理前、食事前、用便後に石けんを用いた十分な手洗い、食品の十分な加熱、患者の汚物の塩素系消毒剤による適切な処理が重要です。

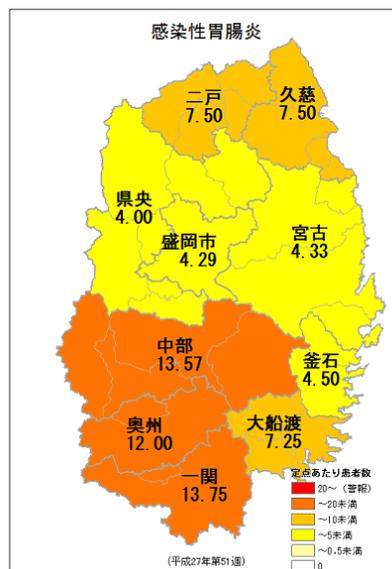
参考 厚生労働省ノロウイルスに関するQ&A

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

感染性胃腸炎、岩手県
(2005-2015)



第52週



第51週

病原体検出情報

- ・流行性角結膜炎の患者の結膜ぬぐい液から、アデノウイルス3型を4件検出しました。
- ・ヘルパンギーナの患者の咽頭ぬぐい液から、アデノウイルス1型を1件、アデノウイルス5型を2件、A群コクサッキーウイルス6型を2件、ライノウイルスを2件、それぞれ検出しました。
- ・手足口病の患者の咽頭ぬぐい液から、A群コクサッキーウイルス6型を6件、A群コクサッキーウイルス16型を2件、ライノウイルスを1件、それぞれ検出しました。
- ・熱性けいれんの患者の咽頭ぬぐい液から、ヒトヘルペス7型を2件、パラインフルエンザ3型を1件、EBウイルスを1件、それぞれ検出しました。
- ・不明熱の患者の咽頭ぬぐい液から、ヒトヘルペス6型を3件、ヒトヘルペス7型を2件、A群コクサッキーウイルス9型を1件、それぞれ検出しました。
- ・無菌性髄膜炎の患者の髄液から、エコーウイルス25型を3件、それぞれ検出しました。
- ・上気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、ライノウイルスを1件、A群コクサッキーウイルス5型を1件、エンテロウイルスD68型を1件、それぞれ検出しました。
- ・下気道炎の患者の咽頭ぬぐい液から、ヒトメタニューモウイルスを2件、ライノウイルスを5件、RSウイルスを5件、パラインフルエンザウイルス1型を2件、パラインフルエンザウイルス3型を1件、パレコウイルス1型を1件、それぞれ検出しました。

集団感染情報

○感染性胃腸炎の集団発生について

奥州市内の保育園（園児130名、職員38名）

- ・11月25日（水）から12月16日（水）にかけて園児17名に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者7名（園児7名）からサポウイルスを確認

花巻市内の保育園（園児50名、職員18名）

- ・12月10日（木）から12月23日（水）にかけて園児25名に症状（嘔吐、下痢等）
- ・有症者6名（園児6名）から、ノロウイルスを確認

盛岡市内の保育園（園児69名、職員20名）

- ・12月9日（水）から12月28日（月）にかけて園児14名に症状（嘔吐、下痢、腹痛等）
- ・有症者6名（園児6名）からサポウイルスを確認

医療機関からの情報

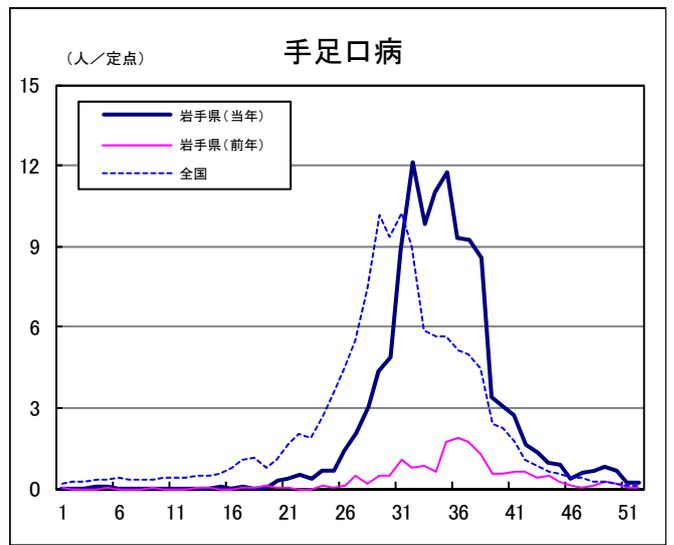
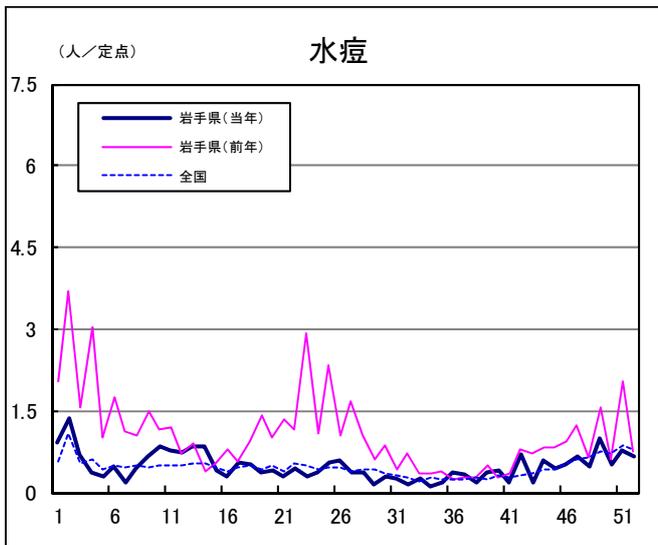
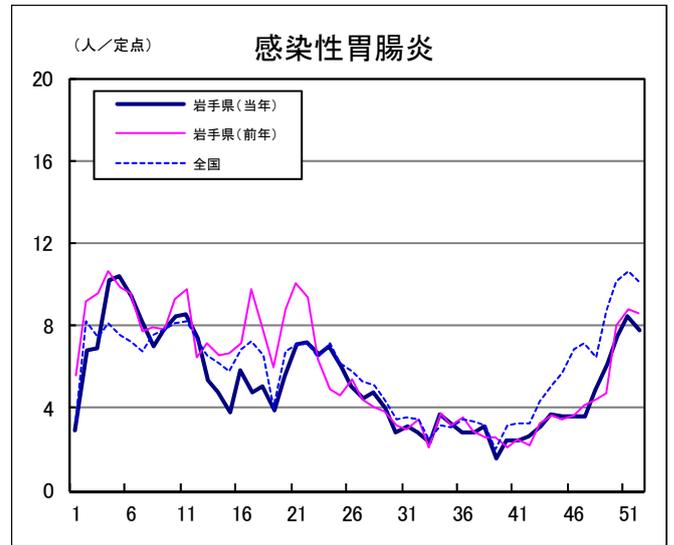
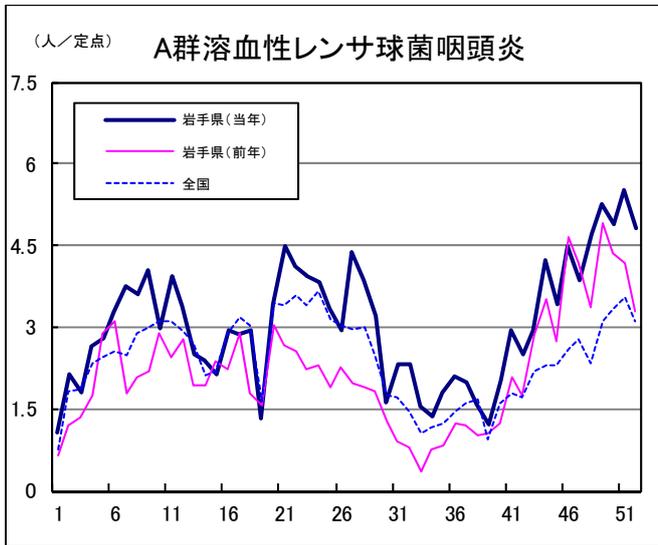
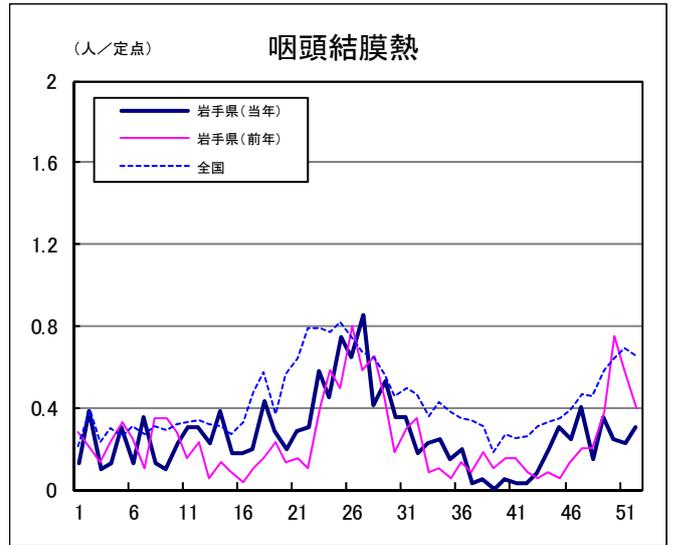
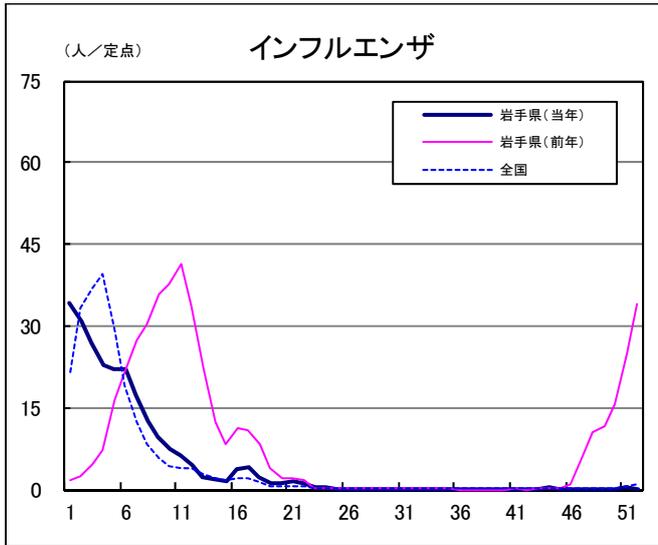
- ・この週には医療機関からの情報はありません。

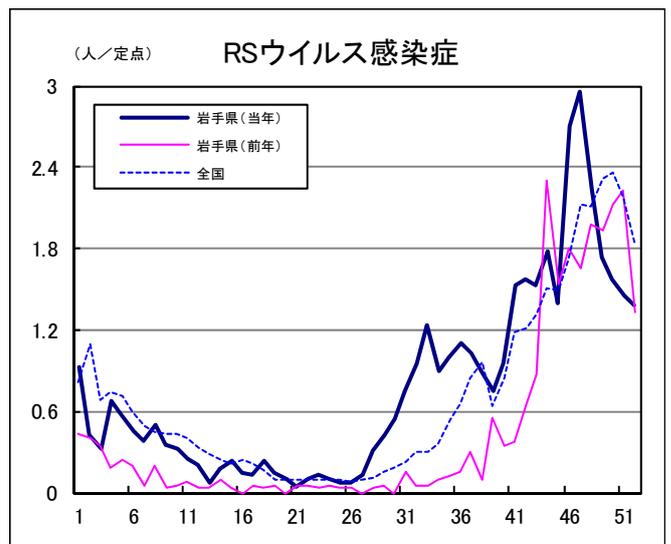
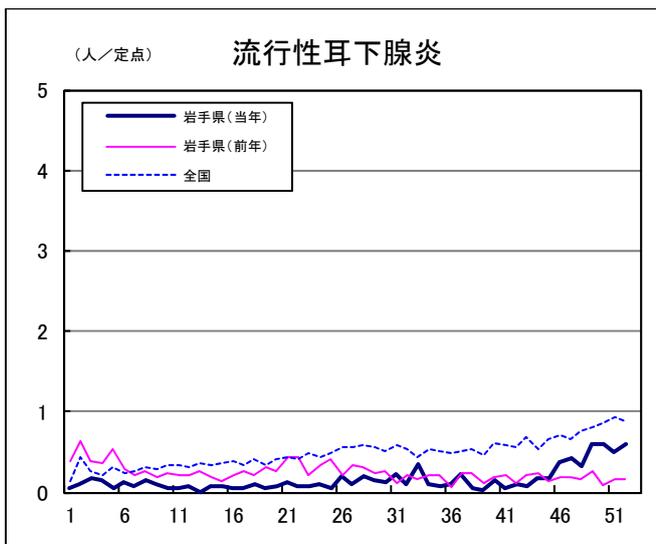
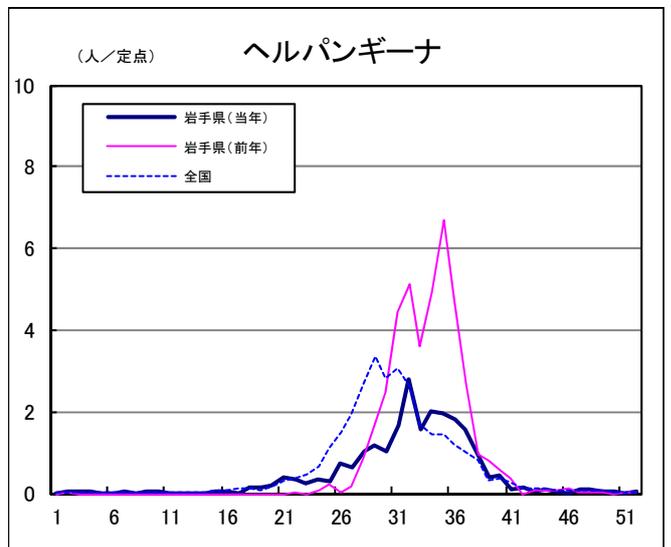
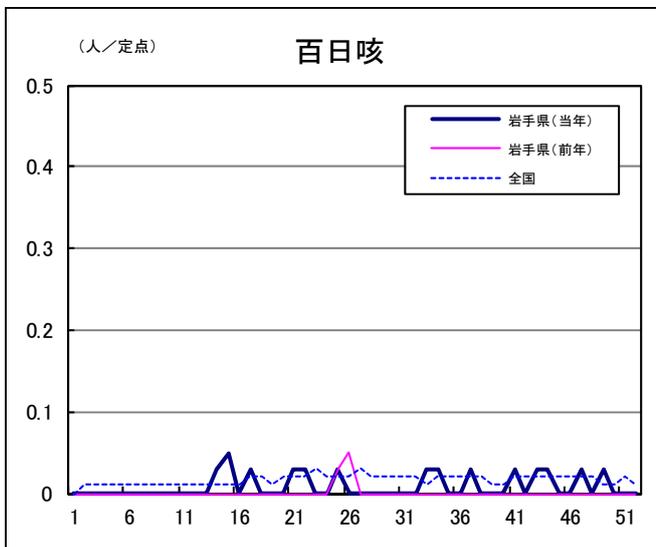
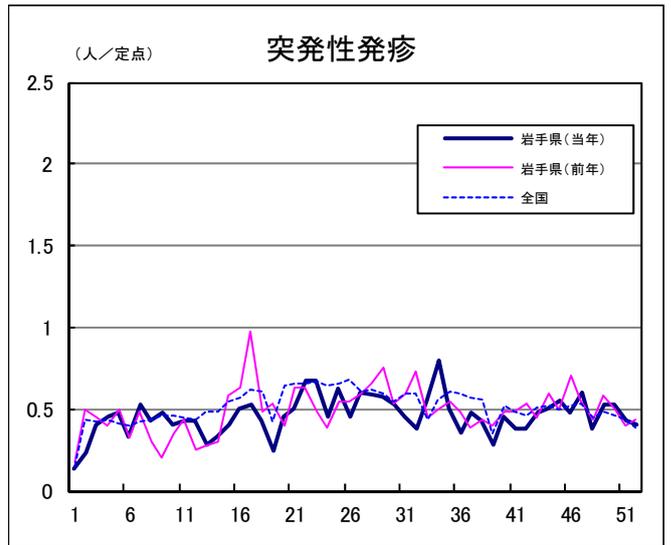
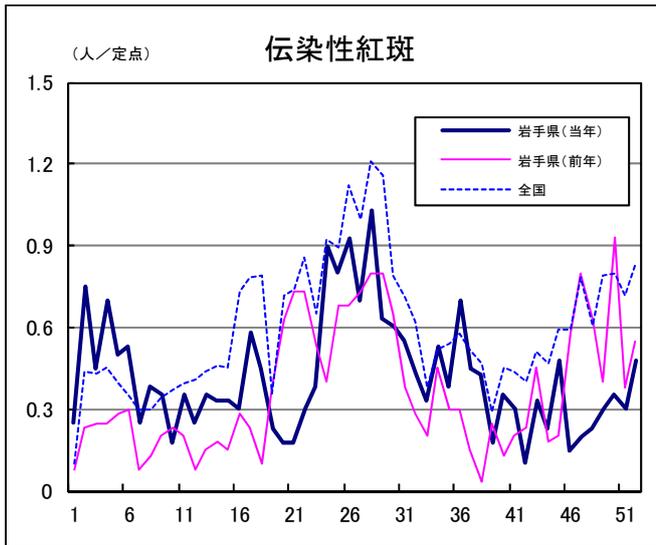
Q & A

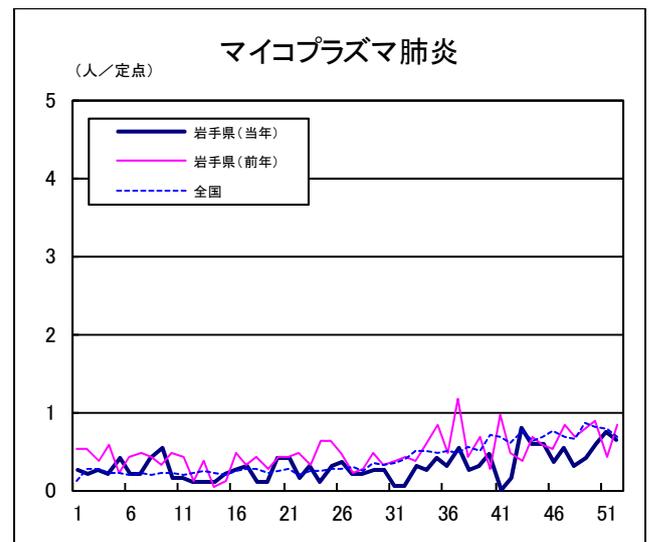
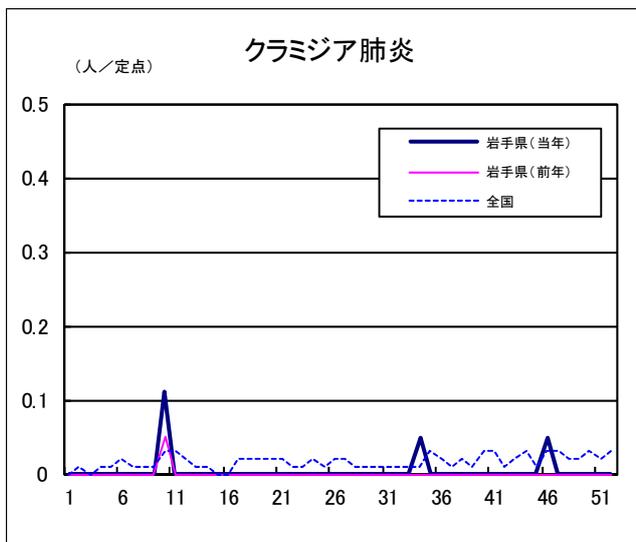
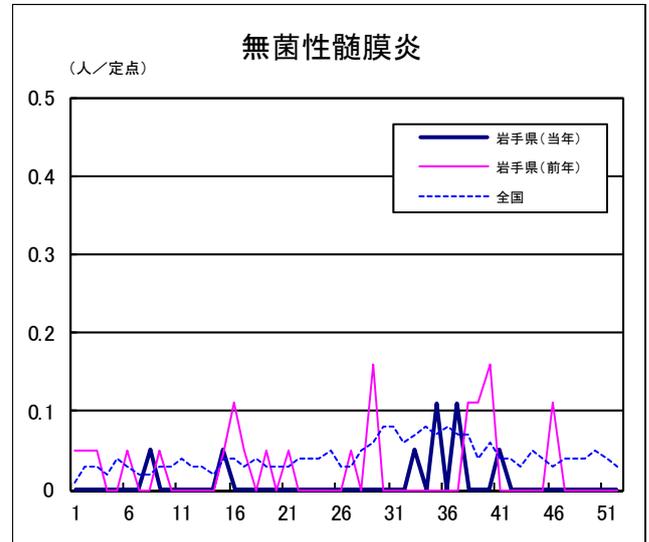
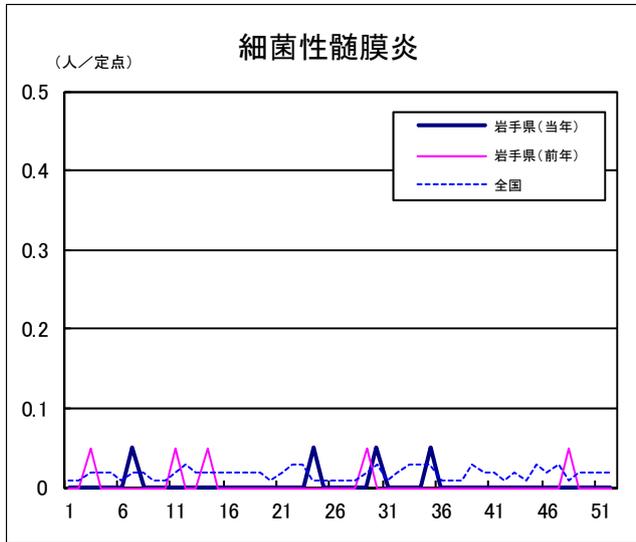
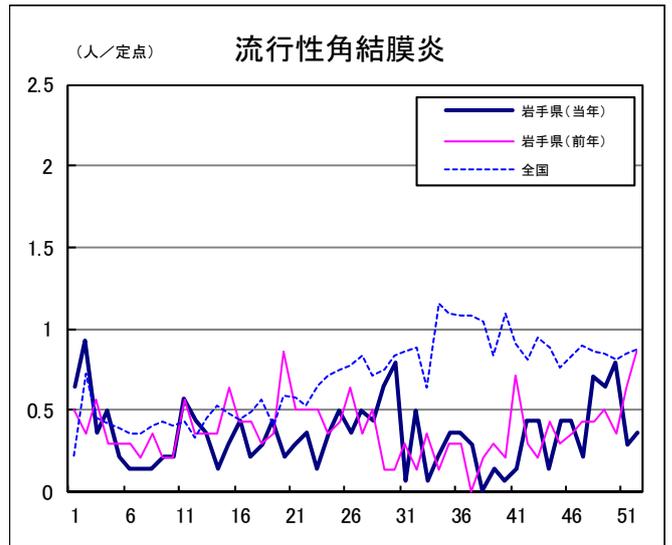
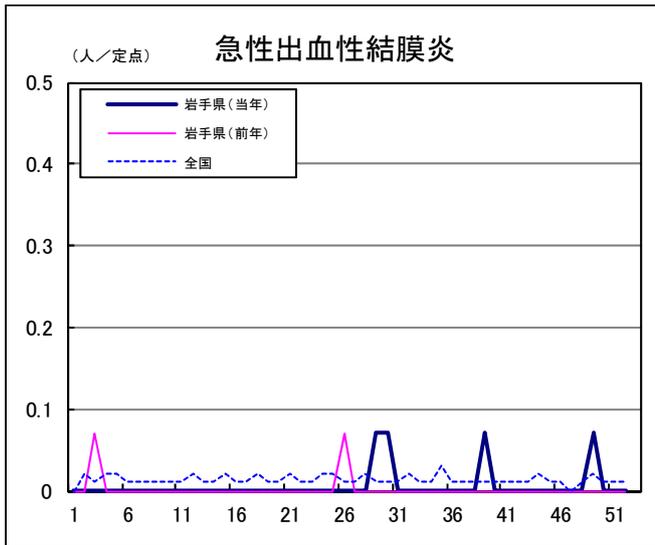
読者の皆様からのご質問にはこの欄でお答えします。

医療機関からの情報や読者の皆様からのご質問は下記の宛先までお寄せください。
岩手県感染症情報センター（岩手県環境保健研究センター保健科学部内）
〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16
TEL:019-656-5669（直通） FAX:019-656-5667
E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

疾病別グラフ (定点あたり患者数の推移)







定点医療機関の数

地区	定点種別 インフル エンザ	小児科定 点	眼科定点	基幹定点
岩手県	65	40	14	19
盛岡市	11	7	3	5
県央	8	5	2	0
中部	12	7	2	4
奥州	7	4	1	2
一関	7	4	1	2
大船渡	6	4	1	1
釜石	3	2	1	1
宮古	5	3	1	1
久慈	3	2	1	1
二戸	3	2	1	2



無料です!!

岩手の感染症情報を毎週メールでお届けする

「岩手県感染症情報ウィークリーマガジン」を配信しています。

配信の登録は以下のURLからお願いします。

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/mailmagazine.html>

岩手県感染症週報 平成27年第52週 平成28年1月7日発行

監修：岩手県感染症発生動向調査委員会

発行：岩手県環境保健研究センター
岩手県保健福祉部医療政策室

事務局：岩手県感染症情報センター
(岩手県環境保健研究センター保健科学部内)

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡1-11-16

TEL:019-656-5669 (直通) FAX:019-656-5667

E-mail: CC0019@pref.iwate.jp

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1353/kansen/>

<岩手県感染症情報センター>

<http://www.pref.iwate.jp/iryuu/kenkou/index.html>

<岩手県保健福祉部医療政策室>